

**PRIMERGY RX1330 M4 / TX1320 M4 / TX1330 M4****ご使用上の留意・注意事項**

PRIMERGY RX1330 M4 / TX1320 M4 / TX1330 M4 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2022年4月  
富士通株式会社

**【PRIMERGY RX1330 M4 / TX1320 M4 / TX1330 M4 共通】****1. Intel TXT 機能について**

本装置では、ハードウェア上でハイパーバイザーを直接稼働させる仮想環境（Windows Hyper-V、VMware ESXi など）において、Intel® TXT 機能（インテル®トラステッド・エクゼキューション・テクノロジー）をご使用になれません。

**2. iSCSI Boot の制限について**

iSCSI Boot はご使用になれません。

**3. オンボードグラフィクスについて**

Windows Server 2016 にてオンボードグラフィクスをご使用の場合、CPU 高負荷時に、オンボードグラフィクスドライバが反応しなくなり、解像度が 1024 x 768 に固定される場合があります。

グラフィクスドライバが無効になり、OS 上のデバイスマネージャーに"問題が発生したのでこのデバイスは停止しました。(コード 43)"と表示されます。

また、Windows のイベントログには ID 4113 と表示されます。

解像度を 1024 x 768 以外に変更するためには、以下の手順を実施ください。

1. Windows のデバイスマネージャーを開く。
2. オンボードディスプレイアダプタを選択。
3. Matrox G200e 上で右クリックし、無効を選択。
4. 再度 Matrox G200e 上で右クリックし、有効を選択。

本不具合は最新のグラフィクスドライバにて修正されております。

**4. VIOM 機能について**

本装置では、VIOM 機能をご使用になれません。

## 5. BIOS モードについて

本装置では、BIOS の設定は UEFI モードのみです。

## 6. オンボード SATA RAID ご使用上の注意事項について

NMI によるダンプの採取はできません。

本不具合は BIOS 1.9.0 にて修正されております。BIOS 1.9.0 以降の最新の BIOS を適用ください。

## 7. セキュリティチップ(PY\*TPM10)について

セキュリティチップ(PY\*TPM10)はサポートしていません。

## 8. BIOS セットアップ Server Mgmt メニューの「Onboard Video」について

BIOS セットアップ Server Mgmt メニューの設定項目「Onboard Video」が 2 つ表示される場合があります。

2 つ表示される「Onboard Video」のうち 2 つ目(下方)の項目は表示のみのため設定項目として無効です。設定される場合は 1 つ目(上方)に表示される設定項目「Onboard Video」にて設定ください。

本不具合は BIOS 1.5.0 にて修正されております。BIOS 1.5.0 以降の最新の BIOS を適用ください。

## 9. Intel Xeon E-2\*\*\*G プロセッサ(PYBCP54EE / PYBCP54EF / PYBCP54EJ / PYBCP54EK / PYBCP54EL / PYBCP54EM / PYBCP54EN / PYBCP57ED / PYBCP57EG / PYBCP57EH / PYBCP57EE / PYBCP57EF / PYBCP57EJ / PYBCP57EK / PYBCP57EL / PYBCP57EM / PYBCP57EP / PYBCP57EN / PYBCP57EQ)、Pentium Gold G5420 プロセッサ(PYBCP57CB)、Core i3-9100 プロセッサ(PYBCP57CC)のプロセッサ・グラフィックス(Intel® UHD Graphics P630/630/610)について

プロセッサ・グラフィックス(Intel® UHD Graphics P630/630/610)は未サポートのため、ご使用になれません。

## 10. iRMC メール通報機能について

本装置では、iRMC メール通報機能 (SupportDesk リモート通報機能含む) はご利用になれません。ServerView Operations Manager を利用したリモート通報機能はご利用可能です。

なお、iRMC メール通報機能は、次版 iRMC ファームウェアで実装を予定しております。(2019 年 2 月)

本不具合は iRMC2.20P にて修正されております。iRMC2.20P 以降の最新の iRMC ファームウェアを適用ください。

## 11. iRMC S5 のご使用上の留意・注意事項に関して

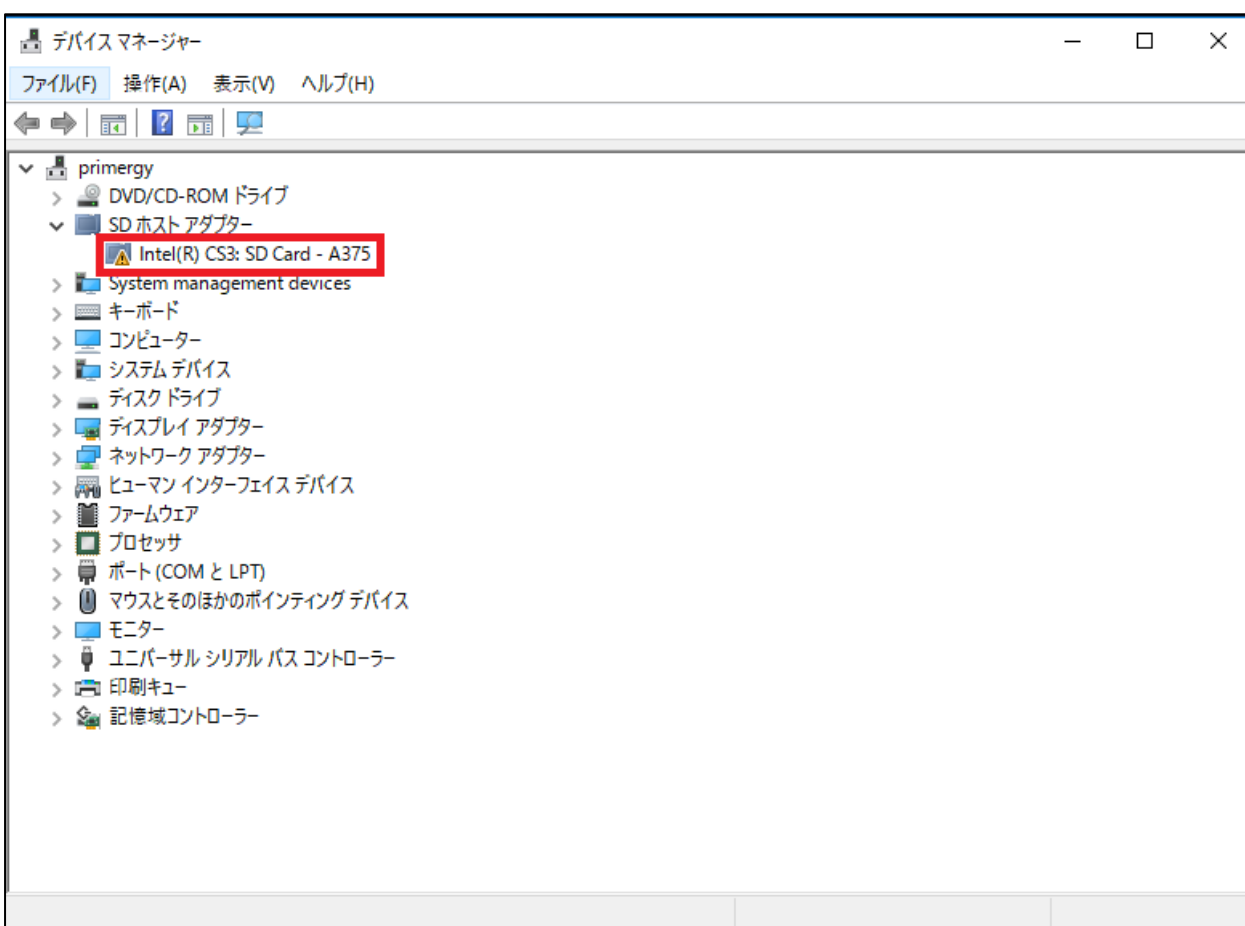
その他、iRMC S5 に関するご使用上の留意・注意事項については、「iRMC S5 (Integrated Remote Management Controller)ご使用上の留意・注意事項」をご確認ください。本留意・注意事項は下記リンクから、ご使用の機種を選択し、各サーバ本体の個別のマニュアルより参照いただけます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

## 12. Windows Server 2016 / 2019 のご使用について

Windows Server 2016 / 2019 をご使用の場合、下記のようにデバイスマネージャーの SD ホストアダプターにデバイスエラー（エラーコード 51）が表示される場合があります。

このデバイスエラー（エラーコード 51）が表示されていても機能的に問題はありません。そのままお使いいただけます。



本不具合は BIOS 1.5.0 にて修正されております。BIOS 1.5.0 以降の最新の BIOS を適用ください。

### 13. オンボード ソフトウェア RAID ご使用上の注意事項について

オンボード SATA コントローラにてソフトウェア RAID をお使いの場合、通常運用での IPMI コマンドおよび iRMC WEB インターフェイスによる電源断(OS の状態にかかわらず、サーバの電源の切断)を実施しないでください。

ソフトウェア RAID の不具合のためドライブの故障が誤検出され、ロジカルドライブがデグレード状態となる場合があります。

なお、Windows Server 2016 / 2019 のインストールオプション(PYBWPS6 / PYBWPS6H / PYBWPW6S / PYBWPS6E / PYBWPS9 / PYBWPS9H / PYBWPDS6 / PYBWPS9E / PYBWPDS6E) を手配されている場合、OS 開封後、OS によるシャットダウンできるまで IPMI コマンドおよび iRMC WEB インターフェイスによる電源断を実施しないでください。

### 14. システム FAN の高速回転不具合について

まれに、CPU の温度 99°C と iRMC が誤認識し、システム FAN が高速回転してしまう場合があります。

システムを一度シャットダウンして電源を切断していただき、AC ケーブルの抜き差しを行った後、電源ボタンの押下などにより再度電源を入れてください。これにより FAN の回転が正常に戻ります。

なお、サーバ起動中は搭載部品の温度情報を取得できないため、システム FAN が高速回転します。これは正常動作であり問題ありません。

### 15. SAS アレイコントローラカード (PY-SR3C52 / PYBSR3C52 / PYBSR3C52L)

#### ご使用時の HDD/SSD アクセス表示ランプについて

サーバ本体フロントパネルの HDD/SSD アクセス表示ランプが常時点灯となる不具合があります。ホットプラグ HDD/SSD モジュールのアクセスランプの動作に不具合はありません。

### 16. サーバ内蔵型バッテリーユニット(PY-BBG03 / PYBBBG03)のご使用時について

本装置でサーバ内蔵型バッテリーユニットをご使用される場合は、iRMC2.42 以降の最新の iRMC フォームウェアを適用ください。

## 17. メモリ交換時の留意について

メモリを交換、増設するには、接触不良等为了避免のため、メモリスロットに一度搭載しロックをかけたのち、再度ロックを外してメモリを搭載しなおしてください。その際、ロックをかけた後、メモリスロットの赤矢印部分が一行になっており、開いていないことを確認してください。



## 18. グラフィックスカード(NVIDIA Quadro P400) (PY-VG302 /PYBVG302 /PY-VG302L/PYBVG302L)のご使用上の注意・留意事項について

PRIMERGY 本体の電源を入れる前にディスプレイの電源を必ず入れてください。

PRIMERGY 本体の電源を入れた後にディスプレイの電源を入れると、まれに保守ランプが点滅し「No video device detected」というログがシステムイベントログに記録され、画面が表示されないことがあります。

そのような場合は、ディスプレイの電源が入った状態で、PRIMERGY 本体の電源をいったん切っ  
てから入れ直してください。

保守ランプが点滅し「No video device detected」というログがシステムイベントログに記録される不具合については BIOS 1.9.0 にて修正されております。BIOS 1.9.0 以降の最新の BIOS を適用ください。

## 19. プロセッサー(CPU) Xeon E-22xx シリーズ、Pentium Gold G5420 および Core i3-9100 のご使用上の注意・留意事項について

本装置にて下記の対象プロセッサーをご使用になる場合、BIOS1.12.0 および iRMC ファームウェア 2.50P 以上でサポート可能です。対象プロセッサーを搭載する場合は、BIOS1.12.0 および iRMC ファームウェア 2.50P 以上の最新 BIOS/iRMC ファームウェアを適用ください。

### 対象プロセッサー

Pentium Gold G5420 プロセッサー	(PY*CP57CB*)
Core i3-9100 プロセッサー	(PY*CP57CC*)
Xeon プロセッサー E-2224	(PY*CP57ED*)
Xeon プロセッサー E-2234	(PY*CP57EG*)
Xeon プロセッサー E-2236	(PY*CP57EH*)
Xeon プロセッサー E-2224G	(PY*CP57EE*)
Xeon プロセッサー E-2226G	(PY*CP57EF*)
Xeon プロセッサー E-2244G	(PY*CP57EJ*)
Xeon プロセッサー E-2246G	(PY*CP57EK*)
Xeon プロセッサー E-2274G	(PY*CP57EL*)
Xeon プロセッサー E-2276G	(PY*CP57EM*)
Xeon プロセッサー E-2278G	(PY*CP57EP*)
Xeon プロセッサー E-2286G	(PY*CP57EN*)
Xeon プロセッサー E-2288G	(PY*CP57EQ*)

## 20. BIOS 1.14.0 Linux ASP オンラインアップデートツールのご使用上の注意・留意事項について

本装置にて ServerView Agents for Linux/Citrix XenServer V9.20.08 をご使用の場合、BIOS 1.14.0 の BIOS アップデート用オンラインアップデートツールを実行してもアップデートできない場合があります。(ツール実行後、「SUCCESS!」というメッセージが表示されても、再起動後に表示される BIOS 版数に変更がなく、アップデートされていない。)

BIOS 1.14.0 の BIOS アップデート用オンラインアップデートツール実行前に、ServerView Agents を一度停止し、BIOS アップデート完了後に再度開始してください。

停止コマンド

```
/usr/sbin/srvmagt stop
```

開始コマンド

```
/usr/sbin/srvmagt start
```

その他のコマンドなど詳細については、マニュアルサイトに公開されているマニュアル ServerView-Agents V9.20 for Linux(SUSE, Red Hat and Citrix XenServer)インストール&ユーザーガイドを参照ください。

## 21. LAN カード(1000BASE-T) (PY\*LA2012 / PYBLA201L2) Intel I210-T1 相当品および Dual port LAN カード(10GBASE-T) (PY\*LA3423 / PYBLA342L3) Intel X710-T2L 相当品のご使用上の注意・留意事項について

(1)iRMC Web インターフェイスに以下の情報が表示されません。

- コントローラ情報(コントローラ名/ファームウェア版数)
- ファンクション情報(MAC アドレス/Speed など)

また、iRMC でリンクステータス監視が出来ませんので、OS 上で監視して下さい。

(2) eIOV (FUJITSU Software Infrastructure Manager の仮想 IO 管理機能)は使用できません。

## 22. Pentium Gold G5420(PY\*CP57CB\*)または Core i3-9100(PY\*CP57CC\*)搭載時かつ SAS アレイコントローラカード (PRAID CP500i) (PY\*SR3FB2\*)搭載時の制限事項について

本装置にて発生条件①②の組合せにおいて、起動時(オフオン/再起動を含む)に CSS ランプが点灯/点滅し、システムイベントログに以下のメッセージを記録する場合があります。

ご使用の装置構成が発生条件に該当する場合、以下の【暫定対処】の手順で復旧させてください。

### <システムイベントログ>

- ・ Legacy PCI SERR Slot: x
- ・ 'System BIOS': (PCI) Connector x: disabled または、'System BIOS': (PCI) Connector x: failed

※上記システムイベントログメッセージの"x"は対象の SAS アレイコントローラカードの搭載位置 : Slot を示します。

### 【発生条件】

#### ①対象プロセッサ

- ・ Pentium Gold G5420 プロセッサ(3.8GHz/2 コア/4MB)  
型名 : PYBCP57CB
- ・ Core i3-9100 プロセッサ(3.6GHz/4 コア/6MB)  
型名 : PYBCP57CC

#### かつ

#### ②対象 SAS アレイコントローラカード

- ・ SAS アレイコントローラカード(PRAID CP500i)  
型名 : PY-SR3FB2, PYBSR3FB2, PYBSR3FB2L

### 【暫定対処】

下記の操作で復旧し、OS が稼働した場合は、ハード的な故障はなく、部品交換は不要です。

1. POST 中、画面下側に「Press <F2> to enter Setup or <F12> to enter Boot Menu.」とメッセージが表示されている間に、【F2】キーを押下し、BIOS セットアップを起動する。
2. Advanced メニュー内の「PCI Status サブメニュー」で対象の SAS アレイコントローラカード搭載の PCI Slot が「Failed」になっていることを確認し、「Enabled」へ設定変更する。
3. Save & Exit メニュー内の、Save Changes and Exit を選択し、BIOS セットアップを終了する。
4. POST が正常に完了し、OS が起動すること、および CSS ランプの消灯を確認する。

### 【恒久対処 (制限解除)】

5 月公開予定の BIOS 1.19.0 で修正予定です。修正版の BIOS が公開されましたら、BIOS 1.19.0 以降の最新の BIOS を適用ください。



## 【PRIMERGY TX1320 M4/ TX1330 M4 共通】

### 1. 内蔵データカートリッジドライブユニット(PY\*RD111/PY\*RD112)のご使用について

Windows 環境で内蔵データカートリッジドライブユニット(PY\*RD111/PY\*RD112)をご使用される場合、フォーマット形式が NTFS の場合に Windows のイベントビューアーに Disk の警告(イベント ID : 153)がログされます。

Windows 環境で内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用される場合、フォーマット形式を exFAT でご使用ください。

## 【PRIMERGY TX1320 M4】

### 1. DVD トレイの開閉操作について

DVD トレイの前面パネルが開口部に干渉し DVD トレイが閉じにくくなる場合があります（以下の写真に示す箇所）。この場合、DVD トレイ前面パネルの中央部を押すことにより開口部への干渉が軽減され、閉じ易くなります。

（開口部に干渉している付近を押すと閉じにくくなりますのでご注意ください）



トレイを閉じる際にこの部分が開口部に引っ掛かる場合があります。  
この部分を押しても引っ掛かりは解消されませんので、写真のようにトレイ前面パネルの中央部を押して閉じてください。

## 【PRIMERGY TX1330 M4】

### 1. イントリュージョンスイッチによる筐体の開閉状態検出機能について

イントリュージョンスイッチによるサイドカバー(ラックモデルの場合はトップカバー)および、HDDベイカバーの開閉状態検知が機能せず、システムイベントログに記録されません。

本不具合は BIOS1.6.0 および iRMC2.20P にて修正されております。BIOS1.6.0 および iRMC2.20P 以降の最新の BIOS/iRMC ファームウェアを適用ください。

－以上－